英語圏の文学Ⅲ

科目ナンバリング　LIE-107
選択　　2単位

木谷　　厳

1. 授業の概要（ねらい）

英語で書かれた文学を学ぶなかで、英語による表現力への理解を深めるとともに、英語が使われている国・地域の文化についても学ぶ。また、中学校および高等学校での教職を志望する学生は、上記の内容を外国語科の授業に生かすことができるようにする。

この授業ではイギリスとアメリカを中心とする英語圏で書かれた詩や演劇について概観的に見る。毎回、テーマとなる詩のジャンルについて解説をしたのち、個別の詩の解釈について課題を出し、グループ・ディスカッションを通じて各人の意見を述べてもらう。また、作品理解の補助として視聴覚資料も用いる。

2. 授業の到達目標

・ 英語圏の文学、とくに詩や演劇などリズミカルな言語表現について理解している。
・ 英語で書かれた代表的な詩（文学）について理解している。
・ 文学作品の読解を通じて、英語が使用されている国・地域の文化について理解している。
・ 詩の世界観を通じて、異文化と自国文化の差異に気づき、それぞれの美質を理解している。

3. 成績評価の方法および基準

授業への積極的な参加、課題への取り組み（50%）、最終課題（50%）。

4. 教科書・参考文献

教科書
教科書は用いず、教員が資料を準備する。
参考文献
志子田 光雄　英詩理解の基礎知識　金星堂
石井 正之助　英詩の諸相――様式と展開　大修館書店
テリー・イーグルトン（著）、川本 皓嗣（訳）　詩をどう読むか　岩波書店
C・デイ・ルーイス（著）、深瀬 基寛（訳）　詩をよむ若き人々のために　筑摩書房

5. 準備学修の内容

毎回詩の解釈について課題を出すので、予習、復習をし、授業の内容をより深く理解しておくこと（1回につき学習時間の目安は2時間）。

6. その他履修上の注意事項

・より発展的な英語力が求められるため、本授業よりも先に「英語圏の文学　I」および「英語圏の文学II」を履修していることが望ましい。

7. 授業内容

【第1回】　誰でも楽しめる英詩の魅力――イントロダクション
【第2回】　童謡（nursery rhymes）の押韻――詩の形式とスキャンション（韻律分析）
【第3回】　親しみやすい自然詩――解説を中心に
【第4回】　自然詩と俳句の対比――ディスカッションを中心に

【第5回】　叙情詩の王道――ソネット（十四行詩）を味読する（1）概要の説明
【第6回】　叙情詩の王道――ソネット（十四行詩）を味読する（2）テクストの分析とディスカッション
【第7回】　頌歌（オード）について（1）概要の説明とテクストの分析
【第8回】　頌歌（オード）について（2）リズムを整えた英作文に挑戦
【第9回】　ジョン・キーツの詩的世界（1）解説を中心に
【第10回】　ジョン・キーツの詩的世界（2）テクストの分析とディスカッション

【第11回】　叙景詩の読解を通じたシミリ（直喩）とメタファ（隠喩）について（1）解説とテクスト分析
【第12回】　叙景詩の読解を通じたシミリ（直喩）とメタファ（隠喩）について（2）比喩の作成に挑戦とディスカッション
【第13回】　シェイクスピアの世界――情熱、感情表現、人間模様
【第14回】　シェイクスピアの劇について（2）喜劇と悲劇の人間讃歌
【第15回】　全体のまとめと詩作に挑戦
※状況に応じて順番や内容が変わる可能性もある。